

漆 工芸

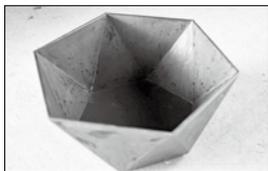
安代漆工技術研究センター研修生
旅立ちの前に 伝えたい 残したい

ここにきてみつけたこと

塗 安比



昭和58年の開所から延べ58人の研修生を輩出してきた安代漆工技術研究センター。ここでの研修過程を終え、新たに3人の若者が旅立ちの時を迎えます。漆工芸への入り口も、今後目指していく方向もそれぞれ違う研修生たち。2年という限られた研修期間、安代の風土の中で過ごし、漆工芸の道に身を置いた彼らの胸の内は皆、ここだからできたという達成感と、育んでくれた安代の地への敬意で満ちあふれています。



インタビュー



菅原 咲さん
北海道帯広市出身 24歳

安比塗は安代地域の
人々の生活に寄り添った
かたちのものが多いこと
は、ここにきて知り得た
ことです。実際にこの地
で暮らしながら漆器をつ
くると、おのずと器にこ
の土地らしさが出てくる
ことに気がきました。

研修修了後は、地元
に戻り、その土地に根ざし
た漆器づくりを行いた
いです。



斎藤 奈津美さん
青森県弘前市出身 30歳

ここに来て2年間の研
修を経て、自分の作りた
いもの、やりたいことが
試せるようになりました。
漆工芸の中でも好き
な技法は「塗り立て」。ゴ
ミひとつないその塗面の
かつこよさは秀絶です。

今後は、漆が持つ素晴
らしい魅力を多くの人に
伝えることに尽力し、興
味を持つ人を増やしてい
きたいです。



寺嶋 剛弘さん
青森県青森市出身 25歳

漆に興味を持ったのは
学生時代。漆は食器づく
りに使うものと思いつい
ていましたが、ここに來
て、さまざまな技法や用
途があることを知り、自
由度の高い素材だとい
うことに気がきました。

研修修了後は、ジャン
ルにとらわれず、作家と
して自分にしかできない
ものづくりをしていき
たいです。

安代漆工技術研究センター研修生修了制作展 ～ここにきてみつけたうるしのこと～

安代漆工技術研究センターで研修生は、漆かぶれによるかゆみに耐えること、体に「塗り」の動きを染み込ませること、素材と向き合うことを2年間積み重ねてきました。その研修成果が詰まった修了制作作品を展示公開します。

また、制作展期間中に研修生による「漆器の扱い方講座」も開催します。この機会に安比塗に触れてみませんか。皆さまのお越しをお待ちしています。

詳しくは、同センター(☎72-2111、内線3910)まで。

◎修了制作展 ※4月4日(月)は定休日です。

場所	日程	時間
市役所結のひろば	3月30日(水)	9:00~18:00
安比塗漆器工房	4月1日(金)~8日(金)	9:00~17:00

◎漆器の扱い方講座～見方、触り方を知ろう～

場所	日程	時間
市役所結のひろば	3月30日(水)	13:00~13:30
安比塗漆器工房	4月1日(金)、5日(火)~8日(金)	13:00~13:30
	2日(土)、3日(日)	11:00~11:30、 13:00~13:30